

第 642 回 9 月度大会レポート

場所：舞鶴白杉 山弘渡船

平成 29 年 9 月 23 日(土)

天候：曇り一時雨

作成者：西山

今回は初めて行く山弘渡船、しかし私にとって白杉は相性の良い場所、過去一本松渡船に数回参加しているが釣れている場所だ。期待を胸に山川副会長の車でいざ出発

今年は未だマンスリーの権利を取得していません、今迄なら何とかマンスリーの権利を取得していましたが今年はずっとスランプになっていた所、山川副会長にお願いし指導も兼ねて一緒に筏に乗って貰いました。筏に上がって釣座に荷物を移動する際、筏の板がずれていた為、右足を誤って海に落ちてしまい何か嫌やな～幸先不安やな～と思いつつ釣り開始、山川副会長は情報の引出しが沢山あるので実釣見ながら穂先から出る

アタリや潮の流れに沿っての穂先の流し方、付けエサの事等教えて貰い実釣開始

モーニングを試すも反応が無いのでダンゴに切り替え、竿下 5～6 個落としオキアミでチョンチョンと穂先に反応あり、上がってきたのはチャリコやハタで竿下は活性がいい様だ。チヌのアタリを待つがその気配は午前中には無かった。いや無かったのではなく気づかなかったかもしれない、、、山川副会長も同じくチャリコやアジに嘆いていました必ずチヌ当り来るから諦めず最後まで釣や～最後にメイクドラマが待ってるで～と午後からもダンゴを打ち続けるも同じ様な状態、午後から大きなアタリがあり合わせるとボラでした。15:00 頃、諦めモードになりかけた際、チョンチョンなアタリでは無くカツカツとした今迄に無いアタリでその後、穂先に付いて行き合わせると重量感が竿に伝わり竿がしなる、途中で動きが止まったがまた竿が海底に沈むので急いで上げたら大きなチヌでした。タモに入れようとするも焦ってしまい上手く入りませんでした。最後まで諦めずにした結果メイクドラマが待っていました。今回竿納は 16:00 でしたが、これからは竿納 30 分前でも諦めず挑戦し続けようと思います。

追伸、翌日に腕や脚に激しい痒みが生じ蚊かダニに噛まれたのか？と聞いていたら

山川副会長から TEL 有り、身体どっか痒くないかと言われ俺も噛まれたとの事、その正体は”ウミケムシ”の子供だったそう。皆さんご注意を、、、

これで何とかマンスリーの権利取得し、自己最長記録も更新することができ、また今回優勝と 3 拍子揃ってバンザイ！バンザイ！の結果となりました。

今年も残り少ない釣行ですが、参加できる限り参加し今度は”年無し”釣れる様頑張りたいと思います。

長寸優勝：西山(46.9cm)

匹数優勝者：該当なし

参加者：松元会長、山川副会長、秋山副会長、田邊氏、山本氏、西山



長寸優勝：西山氏 46.9cm